今年度の活動を振り返って

幹事長 馬場 一徳 (八雲町立八雲小学校)

当研究会では、会員の範囲を道南在住の教育関係者とし渡島(函館市を含む)・檜山管内の小中学校はもちろん、高校、大学の先生方にも加入していただき、活動を進めてきました。さらに、今年度は、南北海道情報教育研究会、函館市情報教育研究会、道南地区放送教育研究協議会、函館市放送教育研究会が連携することにより、より活発な活動の推進を図ることを目的として、道南情報教育研究会ネットワークが設立されました。各研究会において研究をより深化し発展させるために研究会間の連携を強化することが必要であり、今後は道南情報教育研究会ネットワークを中心としながら、様々な団体との連携を図っていきたいと考えています。

さて、新学習指導要領では総則に、「コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作を身に付ける」ことや「情報モラルを身に付けさせる」ことが新たに明記されました。さらに、新学習指導要領では、子どもに身に付けさせるべき情報活用能力を明確にするだけでなく、教員が授業において効果的に ICT を活用し、それぞれの教科の目標を達成させるためにツールとして積極的に扱うことも明確にしています。

このような情勢の中、当会の研究では、コンピュータをはじめとした情報機器を一つの道具として扱い、どのように子供たちの情報活用能力を育成していくのかということに焦点を当て て研究を進めています。そのため、研究仮説を

- ・課題や目的に応じた情報手段の適切な活用を行った授業を行うことで、情報活用能力が育 成するのではないか。
- ・必要な情報の主体的な収集・判断、表現、処理、創造を行った授業を行うことで、情報活用能力が育成するのではないか。
- ・受け手の状況などを踏まえた発信、伝達能力を意識した授業を行うことで、情報活用能力 が育成するのではないか。

として、コンピュータだけでなく情報機器を一つの道具として扱い、どのように子供たちの情報活用能力を育成していくのかということに焦点を当てて研究を進めてきました。子供たちの情報活用能力育成のためには、まず会員自らが、コンピュータをはじめとする情報機器の利用についての研究を深め、情報を交流することを大切にしてきました。

また、会員の学習や交流を図る機会として、時代の先端の教育情報や技術を学ぶ場を数多く 設置したり、携帯電話のトラブルやネット依存についての学習も行ってきたりしました。

さらに、教職員のコンピュータ操作に関わる資質向上のため、当会の伝統となりました実技 講習会も開催してきました。

次年度は、全道視聴覚教育研究大会が渡島を会場として開催されることとなっており、南北海道情報教育研究会 20 周年記念大会ならびに道南情報教育研究会ネットワーク設立 1 周年大会として開催いたします。成功裏に終わることを願い、準備を進めていきたいと思います。

最後に、函館市立的場中学校の藤井壽夫校長先生、函館市立深堀小学校の熊谷光洋校長先生をはじめ、南北海道教育センター、函館市情報教育研究会、七飯町立七飯中学校、その他にも多くの方々にお世話になりましたことに感謝申し上げます。

○今年度の主な活動・会議など

日時	活動内容
4月23日	役員会(大中山小)、総会・懇親会(「和民」五稜郭店)
5月13日	渡教連協総会へ出席(村上先生)
6月11日	 道南情報教育研究会ネットワーク設立会議(会場:柏野小 市川・宮森・馬場)
7月 5日	渡島教育研究会連絡協議会 第 1 回幹事長会議(村上先生)
7月12日	夏期実技講習会案内発送(七重小)
8月 8日	 夏期実技講習会「Excel で成績集計」(会場:七飯中 講師:伊藤先生)
8月 8日	第1回研究部会:研究大会に向けて(七重小)
8月 9日	 夏期実技講習会「通知表の作成と成績集計との連携」(会場:七飯中 講師:伊藤先生)
8月 9日	 道南情報教育研究会ネットワーク「学習会&懇親会」(会場:ホテル法華クラブ)
9月22日	渡島教育研究会連絡協議会 第2回幹事長会議(村上先生)
10月28日	 道視連研究大会(会場:札幌市立真駒内小学校 市川・宮森・小林・馬場)
11 月 25 日	冬期実技講習会案内発送作業(七重小学校)
1月10日	冬期実技講習会「Excel 初級講座」(会場:七飯中 講師:馬場)
1月11日	冬期実技講習会「Access 入門講座」(会場:七飯中 講師:沢田先生)
1月12日	 冬期講習会「ICT 活用講座」(会場:南北海道教育センター 講演:熊谷光洋校長)
1月12日	冬期講習会「情報モラル講座」(会場:南北海道教育センター 講演:藤井壽夫校長)
2月23日	 渡島教育研究会連絡協議会 第3回幹事長会議 (村上先生)
2月24日	函館市情報教育研究会授業研(会場:赤川小 授業者:兒玉先生)
3月	第2回研究部会:全道大会に向けて
3月	研究紀要発行予定

※上記の他に、各部ごとの会議・打ち合わせや、メールでの連絡などがある。